

令和3年度  
毛呂山町水道事業会計  
決算審査意見書

毛呂山町監査委員

# 令和3年度毛呂山町水道事業会計決算審査意見書

## 第1章 審査の概要

### 1 審査の対象

令和3年度毛呂山町水道事業会計決算

### 2 審査実施期日

令和4年6月20日、23日、30日の計3日間

### 3 審査場所

毛呂山町役場 301会議室

### 4 審査の手順及び方法

審査に当たっては、審査に付された決算報告書及び附属書類に関し、①地方公営企業法及び関係法令の規定の主旨に沿って作成されたか、②その計数は、関係帳簿と符合しているか、③水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証した。その際には、関係諸帳簿、証書類等との照合を行い、関係職員の説明を求め実施した。

## 第2章 審査の結果

審査に付された決算及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数は関係帳簿と符合しており、また経営成績及び財政状態をおおむね適正に表示しているものと認められた。

なお、審査の過程において、決算書類に複数箇所の不備があり、更に再提出の書類にも不備が見つかるなど、不正確な書類の再訂正を繰り返すこととなったことは、極めて遺憾であった。

決算関係書類の作成に当たっては、適正な処理が強く求められるものである。今後、再発防止策を行い、書類内容の確認を徹底し、信頼性を損なうことがないよう最善の努力をすべきである。

事業の概況、予算の執行状況、経営成績及び財政状態等は次のとおりである。

# 1 事業の概況

## (1) 業務実績

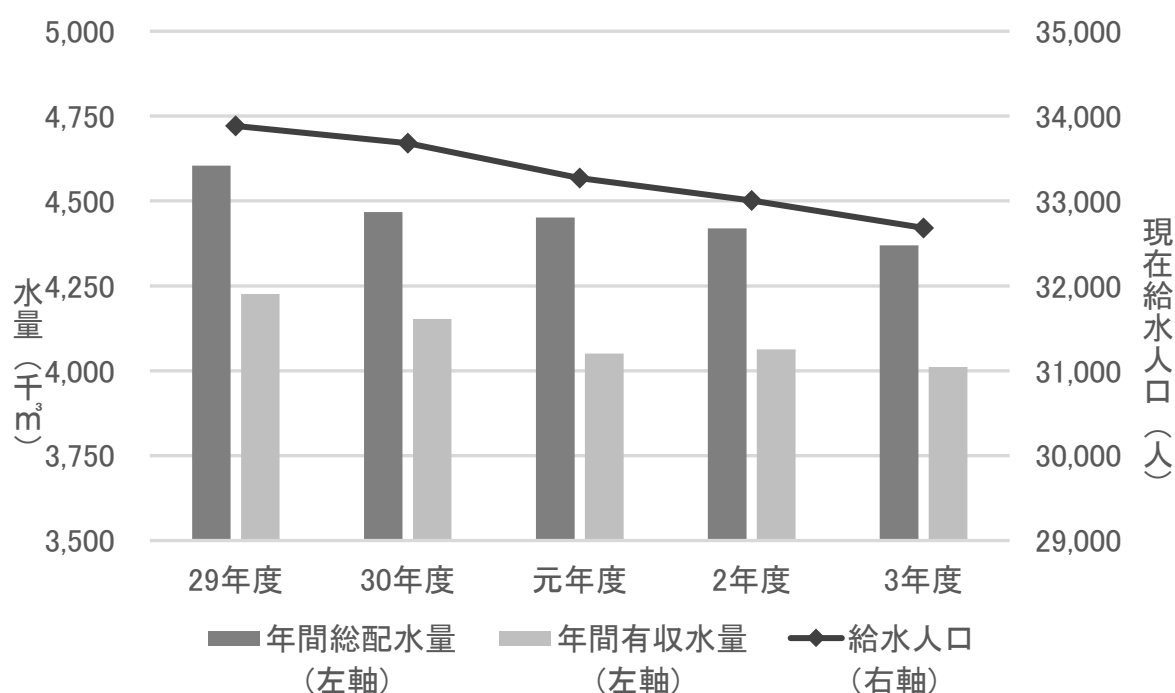
令和3年度末における給水戸数は15,922戸で、前年度と比較すると6戸(0.03%)の増加、給水人口は32,683人で、前年度と比較すると321人(1.0%)の減少となっている。普及率は99.8%で、前年度と変化はない。年間総配水量は4,369,762 $\text{m}^3$ で、前年度と比較すると49,731 $\text{m}^3$ (1.1%)の減少となっている。年間有収水量は4,010,806 $\text{m}^3$ で、前年度と比較すると52,455 $\text{m}^3$ (1.3%)の減少となっている。有収率は91.8%で、前年度と比べ、0.1ポイントの減少となっている。

業務実績

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度	
			増減 (A) - (B)	増減率(%) $\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$
給 水 戸 数 (戸)	15,922	15,916	6	0.0
行政区域内人口 (人)	32,757	33,079	△322	△1.0
現在給水人口 (人)	32,683	33,004	△321	△1.0
普 及 率 (%)	99.8	99.8	0.0	0.0
年 間 総 配 水 量 ( $\text{m}^3$ )	4,369,762	4,419,493	△49,731	△1.1
年 間 有 収 水 量 ( $\text{m}^3$ )	4,010,806	4,063,261	△52,455	△1.3
有 収 率 (%)	91.8	91.9	△0.1	△0.1

注1 普及率=現在給水人口/行政区域内人口×100

注2 有収率=年間有収水量/年間総配水量×100



## (2) 建設工事等

令和3年度の建設工事の総額は、289,417,700円である。

主な建設改良工事は、

電気設備整備費では、苦林浄水場滅菌室空調設備交換工事801,900円、  
配水施設整備費では、内径300mm重要給水施設配水管整備事業127,904,700円、  
配水管布設替工事5カ所で127,704,500円、配水管切り回し工事8,338,000円、  
消火栓移設工事2,622,400円、水道工事に伴う舗装復旧工事3カ所で22,046,200円  
となっている。

## 2 予算の執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### ア 収益的収入

決算額は802,568,235円で、予算額794,110,000円に対する収入率は101.1%となっている。決算額を前年度と比較すると27,141,758円(3.5%)の増加となっている。なお、決算額には仮受消費税及び地方消費税として57,888,683円が含まれている。

#### 備考

令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、町事業として「水道基本料金無償化事業(4カ月分を減免)」が実施された。営業外収益の、補助金(無償化事業補助金)67,980,032円は、水道基本料金減免とシステム改修費に充てられた。

#### 収益的収入の決算状況(税込)

(単位:円、%)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A) ×100	前年度決算額 (C)	増減 (B) - (C)
水道事業収益	794,110,000	802,568,235	8,458,235	101.1	775,426,477	27,141,758
営業収益	652,099,000	658,185,481	6,086,481	100.9	592,359,051	65,826,430
営業外収益	142,011,000	144,382,754	2,371,754	101.7	183,067,426	△38,684,672

#### イ 収益的支出

決算額は708,094,352円で、予算額734,306,000円に対する執行率は96.4%となっている。不用額は26,211,648円である。決算額を前年度と比較すると3,584,438円(0.5%)の減少となっている。主な要因は、減価償却費の有形固定資産減価償却費が減少したことなどによるものである。また、特別損失117,117円は、全額が過年度損益修正損であり、漏水減免によるものである。なお、決算額には仮払消費税及び地方消費税として30,375,483円が含まれている。

収益的支出の決算状況（税込）

（単位：円、％）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A) - (B)	執行率 (B)/(A) ×100	前年度決算額 (C)	増減 (B) - (C)
水道事業費用	734,306,000	708,094,352	26,211,648	96.4	711,678,790	△3,584,438
営業費用	702,273,000	681,909,612	20,363,388	97.1	684,704,229	△2,794,617
営業外費用	29,733,000	26,067,623	3,665,377	87.7	26,927,815	△860,192
特別損失	300,000	117,117	182,883	39.0	46,746	70,371
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0	0	0

(2) 資本的収入及び支出

ア 資本的収入

決算額は168,208,200円で、予算額168,208,000円に対する収入率は100.0%となっている。決算額を前年度と比較すると52,349,200円（45.2%）の増加となっている。増加した主な要因は企業債の借入増によるものである。また、負担金の皆増は、下水道工事に伴う配水管切り回し工事によるものである。

資本的収入の決算状況（税込）

（単位：円、％）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B)/(A) ×100	前年度決算額 (C)	増減 (B) - (C)
資本的収入	168,208,000	168,208,200	200	100.0	115,859,000	52,349,200
企業債	150,000,000	150,000,000	0	100.0	100,000,000	50,000,000
補助金	14,532,000	14,532,000	0	100.0	15,859,000	△1,327,000
負担金	3,676,000	3,676,200	200	100.0	0	3,676,200

イ 資本的支出

決算額は404,045,893円で、予算額412,818,000円に対する執行率は97.9%となっている。不用額は8,772,107円である。決算額を前年度と比較すると12,898,206円（3.3%）の増加となっている。これは主に、配水管整備費の請負工事費が増加したことなどによるものである。なお、決算額には仮払消費税及び地方消費税として26,550,182円が含まれている。

資本的支出の決算状況（税込）

（単位：円、％）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A) - (B)	執行率 (B)/(A) ×100	前年度決算額 (C)	増減 (B) - (C)
資本的支出	412,818,000	404,045,893	8,772,107	97.9	391,147,687	12,898,206
建設改良費	319,548,000	313,276,220	6,271,780	98.0	288,707,156	24,569,064
企業債償還金	93,270,000	90,769,673	2,500,327	97.3	102,440,531	△11,670,858

### ウ 資本的収支及び補てん財源

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額235,837,693円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額24,894,891円、過年度分損益勘定留保資金210,942,802円で補てんされている。

## 3 経営成績

経営成績を示す損益計算書（消費税及び地方消費税抜）構成並びに前年度対比表は、別表1のとおりである。

### (1) 総収益

総収益は744,701,022円で、前年度と比較すると21,511,119円（3.0%）の増加となっている。総収益は、営業収益と営業外収益からなり、営業収益は、600,298,059円で、前年度と比較すると60,002,737円（11.1%）の増加となっている。これは主に、令和3年10月の水道料金引き上げにより、給水収益が68,430,153円（13.8%）増加したことによるものである。

また、営業外収益は144,402,963円で、前年度と比較すると38,491,618円（21.0%）の減少となっている。これは主に、無償化事業補助金が35,239,812円減少したことによるものである。【3頁 備考参照】

### (2) 総費用

総費用は675,301,938円で、前年度と比較すると7,179,541円（1.1%）の減少となっている。総費用は、営業費用、営業外費用及び特別損失からなり、営業費用は651,544,481円で、前年度と比較すると3,230,109円（0.5%）の減少となっている。これは主に、総経費が4,320,370円（9.3%）、減価償却費が14,118,699円（4.8%）減少したことによるもので、主な要因は人件費と有形固定資産減価償却費となっている。

営業外費用は23,650,692円で、前年度と比較すると4,012,232円（14.5%）の減少となっている。主な要因は雑支出となっている。

特別損失は106,765円で、全額が過年度損益修正損であり、前年度と比較すると62,800円（142.8%）の増加となっている。

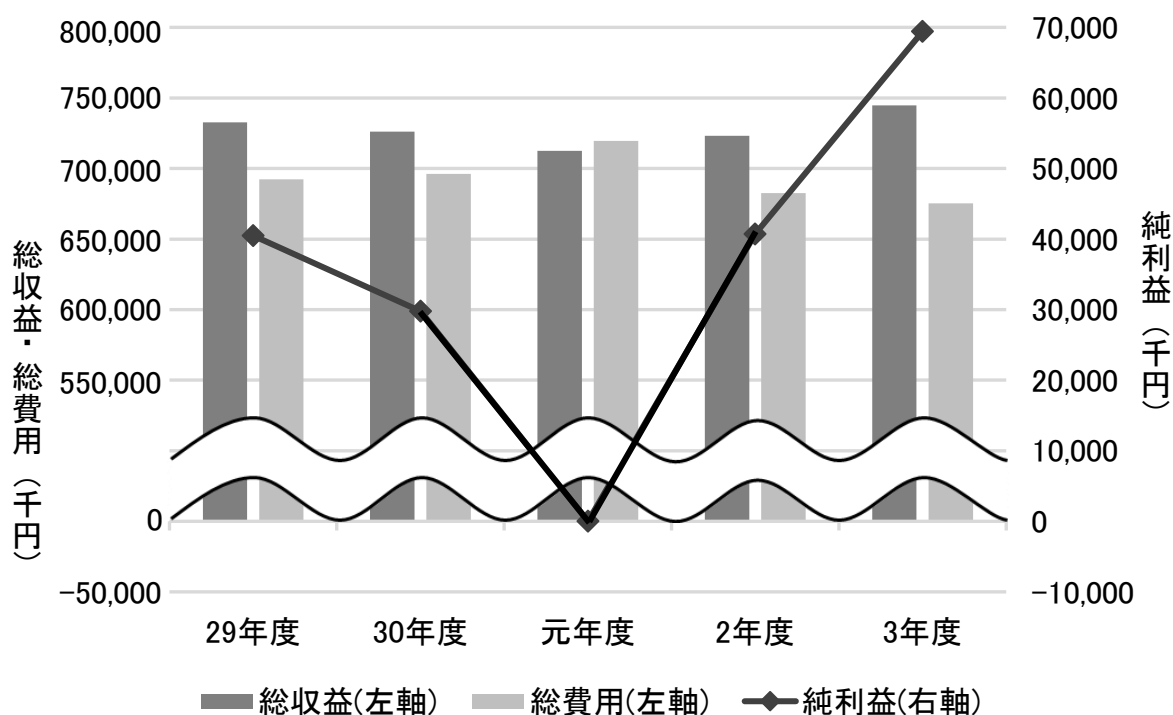
### (3) 純利益（純損失）

総収益から総費用を差し引いた当年度の純利益は69,399,084円で、令和3年度は純利益となった。前年度と比較すると28,690,660円の増加となっている。

損益計算の推移

(単位：円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総収益(A)	732,744,923	726,044,820	712,405,468	723,189,903	744,701,022
総費用(B)	692,264,721	696,263,741	719,572,540	682,481,479	675,301,938
純利益(A-B)	40,480,202	29,781,079	△7,167,072	40,708,424	69,399,084



### (4) 給水原価等

営業費用651,544,481円に営業外費用23,650,692円を加え、長期前受金戻入額75,813,190円を差し引いた額599,381,983円を有収水量4,010,806m<sup>3</sup>で除した有収水量1m<sup>3</sup>当たりの給水原価(販売原価)は149円44銭で、前年度と比較すると53銭の増加となっている。供給単価(販売単価)は156円17銭で、前年度と比較すると11円19銭の増加となっている。

また、供給単価から給水原価を差し引いた販売利益は6円73銭となり、前年度と比較すると10円66銭の増加となっている。これは、水道料金の改訂が主な要因となっている。

## (5) 経営分析

### ア 経営状況

水道事業の収益性を見ると、営業収支比率は92.1%、総資本収益比率は1.5%となっている。前年度と比較すると、営業収支比率は9.6ポイントの増加、総資本収益比率は0.6ポイントの増加となっている。

#### 事業の経営状況

区 分	令和3年度	令和2年度	増減	算式
営業収支比率 (%) (注1)	92.1 (注3)	82.5 (注4)	9.6	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
総資本収益比率 (%) (注2)	1.5	0.9	0.6	$\frac{\text{当年度純利益(純損失)}}{(\text{期首}+\text{期末総資本}) \div 2} \times 100$

注1 営業収支比率は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示し、この比率が高いほど経営状況がよく、100%未満の場合は営業損失が生じていることを意味している。

注2 総資本収益比率は、総資本の収益性を見るもので、経常的な収益力を総合的に表す指標であり、この指標が高いほど総合的な収益性が高い。

注3 営業収益に補助金（水道基本料金減免額）を考慮した場合は、101.6%になる。

注4 営業収益に補助金（水道基本料金減免額）を考慮した場合は、96.6%になる。

### イ 施設の利用状況

施設の利用状況を見ると、負荷率は91.7%、施設利用率は51.8%、最大稼働率は56.5%となっている。前年度と比較すると、負荷率は2.6ポイントの増加、施設利用率は0.6ポイント、最大稼働率は2.3ポイントの減少となっている。

#### 施設の利用状況

区 分	令和3年度	令和2年度	増減	算式
負 荷 率 (%) (注1)	91.7	89.1	2.6	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$
施 設 利 用 率 (%) (注2)	51.8	52.4	△0.6	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$
最 大 稼 働 率 (%) (注3)	56.5	58.8	△2.3	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$

注1 負荷率は、経営効率を判断する指標の一つであり、その比率が高いほど効率的であるとされている。

注2 施設利用率は、経済性を総合的に判断する指標であり、その比率が高いほど効率的であるとされている。

注3 最大稼働率は、1日配水能力に対する1日最大配水量の割合を示す。

## 4 財政状態

財政状態を示す貸借対照表構成並びに前年度対比表は別表2、現金預金の増減要因を示すキャッシュ・フロー計算書は別表3のとおりである。

### (1) 資産

資産総額は8,083,142,246円で、前年度と比較すると54,900,223円（0.7%）の増加となっている。資産総額のうち固定資産は7,465,112,979円で、前年度と比較すると1,391,011円（0.02%）の減少となっている。これは主に有形固定資産が919,070円（0.01%）減少、無形固定資産が、471,941円（3.6%）減少したことによるものである。



また、流動資産は618,029,267円で、前年度と比較すると56,291,234円（10.0%）の増加となっている。これは主に、現金預金が81,584,420円（18.1%）増加したことによるものである。

## (2) 負債

負債総額は3,476,745,284円で、前年度と比較すると14,498,861円（0.4%）の減少となっている。負債総額のうち固定負債は1,391,898,617円で、前年度と比較すると44,592,819円（3.3%）の増加となっている。

また、流動負債は179,370,397円で、前年度と比較すると168,601円（0.1%）の増加となっている。これは主に企業債が8,549,644円（9.4%）増加したことによるものである。

なお、当年度末未払金69,723,768円は、令和4年6月30日現在で、リース試算未払消費税分483,696円を除く全額を支払い済である。

## (3) 資本

資本総額は4,606,396,962円で、前年度と比較すると69,399,084円（1.5%）の増加となっている。資本金は4,358,206,694円で、前年度と比較すると30,000,000円（0.7%）の増加となっている。また、剰余金は248,190,268円で、前年度と比較すると39,399,084円（18.9%）の増加となっている。

## (4) 未収金

当年度末未収金は71,082,077円で、水道料金61,307,843円、公共下水道組合徴収業務委託8,836,759円等である。

なお、この未収金は、令和4年4月末現在で60,376,280円が収納されている。

## (5) 企業債

企業債は、前年度末未償還残高1,349,222,144円に対して、令和3年度中に150,000,000円を借入れ、90,769,673円の償還を行い、当年度末未償還残高は1,408,452,471円となっている。前年度は100,000,000円を借入れており、比較すると50,000,000円（50%）の増加となっている。

## 5 資金の状況

業務活動によるキャッシュ・フローは、当年度業務活動の結果、290,552,736円となっている。これは、資金が減少しない減価償却費280,097,648円、当年度純利益69,399,084円等から、営業活動による取引の増減を加減したものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、当年度投資活動の結果、△264,208,780円となっている。これは固定資産の取得による支出で△282,416,980円、国庫補助

金等による収入18,208,200円によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、当年度財務活動の結果、55,240,464円となっている。これは建設改良事業の財源に充てるための企業債の収入150,000,000円と企業債の償還による支出で△90,769,673円等によるものである。

その結果、資金期首残高450,080,980円から81,584,420円の資金増加となった。なお、資金期末残高531,665,400円は、貸借対照表における現金預金の金額と符合している。

## 6 不納欠損処分

不納欠損額は、過年度分水道料金289,848円であり、貸倒引当金の取り崩しにより処理している。

## 第3章 総評

令和3年度毛呂山町水道事業会計決算における経営成績を見ると、純利益は69,399,084円であり、前年度の40,708,424円と比較すると、29,690,660円の増加となった。

収益性を示す有収水量1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価は、給水原価を6円73銭上回ったが、これは令和3年10月から水道料金を改定したことによるものである。

当町の水道事業の経営は、人口減を背景に、給水人口は減少しており、また、大口需要者の節水に加え、各家庭の高機能節水機器の普及により、今後も水需要の増加は見込めず、たいへん厳しい状況におかれている。

耐用年数を迎える老朽化した施設の更新、石綿セメント管を含む、老朽管の耐震管への更新など、喫緊の諸問題への対応は、安心安全な水道水を安定供給するために、必要不可欠である。毎年、企業債の発行などにより、設備投資に要する費用を確保し、令和3年度は料金改定により経営の安定を図っているが、将来の人口減少が見込まれる中では、更に計画的で効率的な財政運営に努めることが望まれる。

「毛呂山町水道事業ビジョン」に掲げられた、『安心で良質な水道』『いつでも頼れる水道』『健全に経営し続ける水道』の基本方針の実現に向け、「水道事業経営戦略」の進捗を確認・検証し、見直しを図りながら、経営努力を継続し、効率的な事業運営に取り組み、将来像である『未来へ引き継ぐ安全で頼れる水道』の実現に努められたい。

令和3年度 損益計算書構成並びに前年度対比表

別表 1

税抜(単位 円)

借 方							貸 方						
区 分 科 目	本 年 度		前 年 度		前年度に 対し増減	前 年 対 比	区 分 科 目	本 年 度		前 年 度		前年度に 対し増減	前 年 対 比
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比				金 額	構 成 比				
1. 営業費用	651,544,481	96.5	654,774,590	96.0	△ 3,230,109	99.5	1. 営業収益	600,298,059	80.6	540,295,322	74.7	60,002,737	111.1
<u>原水及び浄水費</u>	234,779,989	34.8	229,949,448	33.7	4,830,541	102.1	<u>給 水 収 益</u>	564,966,822	75.9	496,536,669	68.7	68,430,153	113.8
<u>配水及び給水費</u>	33,808,152	5.0	25,831,266	3.8	7,976,886	130.9	<u>加 入 金</u>	14,500,000	1.9	24,200,000	3.3	△ 9,700,000	59.9
<u>業 務 費</u>	57,141,843	8.5	55,175,877	8.1	1,965,966	103.6	<u>その他営業収益</u>	20,831,237	2.8	19,558,653	2.7	1,272,584	106.5
<u>総 係 費</u>	42,006,506	6.2	46,326,876	6.8	△ 4,320,370	90.7							
<u>減 価 償 却 費</u>	280,097,648	41.5	294,216,347	43.1	△ 14,118,699	95.2							
<u>資 産 減 耗 費</u>	3,710,343	0.5	3,274,776	0.5	435,567	113.3							
2. 営業外費用	23,650,692	3.5	27,662,924	4.0	△ 4,012,232	85.5	2. 営業外収益	144,402,963	19.4	182,894,581	25.3	△ 38,491,618	79.0
<u>支 払 利 息 及 び   企 業 債 利 息</u>	15,494,554	2.3	16,476,952	2.4	△ 982,398	94.0	<u>受 取 利 息</u>	17,416	0.0	38,701	0.0	△ 21,285	45.0
<u>繰 延 勘 定 償 却</u>	0	0.0	0	0.0	0	-	<u>補 助 金</u>	67,980,032	9.1	103,219,844	14.3	△ 35,239,812	-
<u>雑 支 出</u>	8,156,138	1.2	11,185,972	1.6	△ 3,029,834	72.9	<u>負 担 金</u>	0	0.0	0	0.0	0	-
							<u>長 期 前 受 金 戻 入</u>	75,813,190	10.2	77,362,224	10.7	△ 1,549,034	98.0
							<u>雑 収 益</u>	592,325	0.1	2,273,812	0.3	△ 1,681,487	26.0
3. 特別損失	106,765	0.0	43,965	0.0	62,800	242.8							
<u>過 年 度 損 益   修 正 損</u>	106,765	0.0	43,965	0.0	62,800	242.8							
<u>その他特別損失</u>													
合 計	675,301,938	100.0	682,481,479	100.0	△ 7,179,541	98.9	合 計	744,701,022	100.0	723,189,903	100.0	21,511,119	103.0

令和3年度 貸借対照表構成並びに前年度対比表

別表 2  
税抜(単位 円)

借 方							貸 方						
区 分 科 目	本 年 度		前 年 度		前年度に 対し増減	前 年 対 比	区 分 科 目	本 年 度		前 年 度		前年度に 対し増減	前 年 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比				金 額	構成比	金 額	構成比		
1. 固定資産	7,465,112,979	92.3	7,466,503,990	93.0	△ 1,391,011	100.0	3. 固定負債	1,391,898,617	17.2	1,347,305,798	16.8	44,592,819	103.3
(1) 有形固定資産	7,452,780,501	92.1	7,453,699,571	92.8	△ 919,070	100.0	修繕引当金	80,753,000	1.0	82,831,000	1.0	△ 2,078,000	97.5
土地	507,180,879	6.3	507,180,879	6.3	0	100.0	リース債務	2,012,463	0.0	6,022,327	0.1	△ 4,009,864	33.4
建物	201,997,812	2.5	201,997,812	2.5	0	100.0	企業債	1,309,133,154	16.2	1,258,452,471	15.7	50,680,683	104.0
減価償却累計額(△)	133,541,809	1.7	128,846,709	1.6	4,695,100	103.6	4. 流動負債	179,370,397	2.2	179,201,796	2.2	168,601	100.1
構築物	12,219,487,388	151.1	11,953,173,871	148.9	266,313,517	102.2	未払金	69,723,768	0.9	78,000,007	1.0	△ 8,276,239	89.4
減価償却累計額(△)	5,808,220,152	71.9	5,599,392,376	69.7	208,827,776	103.7	リース債務	4,009,864	0.0	3,989,863	0.0	20,001	100.5
機械及び装置	2,125,829,405	26.3	2,125,367,425	26.5	461,980	100.0	企業債	99,319,317	1.2	90,769,673	1.1	8,549,644	109.4
減価償却累計額(△)	1,705,814,046	21.1	1,658,082,153	20.7	47,731,893	102.9	引当金	6,317,448	0.1	6,442,253	0.1	△ 124,805	98.1
車両及び運搬具	14,902,459	0.2	14,902,459	0.2	0	100.0	その他流動負債	0	0.0	0	0.0	0	-
減価償却累計額(△)	13,832,560	0.2	13,375,921	0.2	456,639	103.4	5. 繰延収益	1,905,476,270	23.6	1,964,736,551	24.5	△ 59,260,281	97.0
工具器具及び備品	13,899,680	0.2	13,899,680	0.2	0	100.0	長期前受金	4,429,696,755	54.8	4,421,335,549	55.1	8,361,206	100.2
減価償却累計額(△)	11,171,364	0.1	10,857,338	0.1	314,026	102.9	長期前受金収益化						
リース資産	19,900,000	0.2	19,900,000	0.2	0	100.0	累計額(△)	2,524,220,485	31.2	2,456,598,998	30.6	67,621,487	102.8
減価償却累計額(△)	10,746,000	0.1	7,164,000	0.1	3,582,000	-	負債合計	3,476,745,284	43.0	3,491,244,145	43.5	△ 14,498,861	99.6
建設仮勘定	32,908,809	0.4	34,995,942	0.4	△ 2,087,133	94.0	6. 資本金	4,358,206,694	53.9	4,328,206,694	53.9	30,000,000	100.7
(2) 無形固定資産	12,332,478	0.2	12,804,419	0.2	△ 471,941	96.3	自己資本金	4,358,206,694	53.9	4,328,206,694	53.9	30,000,000	100.7
その他無形 固定資産	12,332,478	0.2	12,804,419	0.2	△ 471,941	96.3	7. 剰余金	248,190,268	3.1	208,791,184	2.6	39,399,084	118.9
(3) 投資その他資産	0	0.0	0	0.0	0	-	資本剰余金	77,373,923	1.0	77,373,923	1.0	0	100.0
投資有価証券	0	0.0	0	0.0	0	-	利益剰余金	170,816,345	2.1	131,417,261	1.6	39,399,084	130.0
2. 流動資産	618,029,267	7.7	561,738,033	7.0	56,291,234	110.0	減債積立金	40,000,000	0.5	0	0.0	40,000,000	-
現金預金	531,665,400	6.6	450,080,980	5.6	81,584,420	118.1	建設改良積立金	40,000,000	0.5	0	0.0	40,000,000	-
未収金	71,082,077	0.9	95,189,096	1.2	△ 24,107,019	74.7	未処分利益剰余金 (未処理欠損金)	90,816,345	1.1	131,417,261	1.6	△ 40,600,916	69.1
貸倒引当金(△)	2,628,342	0.0	2,607,501	0.0	20,841	100.8	資本合計	4,606,396,962	57.0	4,536,997,878	56.5	69,399,084	101.5
貯蔵品	17,721,142	0.2	18,893,148	0.2	△ 1,172,006	93.8	負債資本合計	8,083,142,246	100.0	8,028,242,023	100.0	54,900,223	100.7
有価証券	0	0.0	0	0.0	0	-							
前払金	188,990	0.0	182,310	0.0	6,680	103.7							
資産合計	8,083,142,246	100.0	8,028,242,023	100.0	54,900,223	100.7							

## 令和3年度 毛呂山町水道事業キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

## I 業務活動によるキャッシュ・フロー

1	当年度純利益 (△は純損失)	69,399,084円
2	営業活動から得た現金預金の調整	
	(1)減価償却費	280,097,648円
	(2)固定資産除却費	3,710,343円
	(3)引当金の増減額	
	・賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 132,218円
	・法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	7,413円
	・貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,841円
	・修繕引当金の増減額 (△は減少)	△ 2,078,000円
	(4)繰延勘定の償却額	0円
	(5)長期前受金戻入額 (△)	△ 75,813,190円
	(6)支払利息等	15,497,823円
	(7)受取利息・配当金等 (△)	△ 17,416円
	(8)未収金の増減額 (△は増加)	24,107,019円
	(9)未払金の増減額 (△は減少)	△ 8,276,239円
	(10)貯蔵品の増減額 (△は増加)	1,172,006円
	(11)前払金の増減額 (△は増加)	△ 6,680円
	(12)仮払消費税調整額	<u>△ 1,655,291円</u>
	小計	236,634,059円
3	営業活動以外から得た現金預金の調整	
	(1)利息及び配当金の受取額	17,416円
	(2)利息の支払額 (△)	<u>△ 15,497,823円</u>
	小計	△ 15,480,407円
	業務活動によるキャッシュ・フロー	290,552,736円

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

1 固定資産取得による支出 (△)	△ 282,416,980円
2 国庫補助金等による収入	18,208,200円
3 有価証券及び投資有価証券の売却による収入	0円
4 一般会計等からの繰入金による収入	0円

投資活動によるキャッシュ・フロー △ 264,208,780円

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

1 企業債による収入	150,000,000円
2 企業債の償還による支出 (△)	△ 90,769,673円
3 リース債務の返済による支出 (△)	<u>△ 3,989,863円</u>

財務活動によるキャッシュ・フロー 55,240,464円

IV 資金増減額 (△は減少) 81,584,420円

V 資金期首残高 450,080,980円

VI 資金期末残高 531,665,400円